

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和8年6月18日

事業者名: 株式会社ナイキ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	節水設備の普及や省エネルギー機器の提案・施工を通じて、環境負荷の低減に取り組んでいます。また、施工時に発生する廃材の適正処理とリサイクルを徹底し、持続可能な社会の実現に貢献します。		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑥安全な水とトイレを世界中に	令和7年度 漏水修繕や給排水設備の適切な維持管理により水資源の保全に貢献	指標	コンプライアンス研修：年1回以上実施 安全会議：毎月1回実施
					目標	漏水修繕対応 2026年 10件 2030年 50件
社会	従業員が安心して働ける職場環境の整備や人材育成に努めるとともに、地域活動への参加や災害時の復旧支援などを通じて、持続可能な地域社会の発展に取り組んでいます。		⑧働きがいも経済成長も	令和7年度 従業員の資格取得を支援し、給水装置工事主任技術者や管工事施工管理技士などの資格保有者を育成	指標	2030年までに従業員の資格取得者数を年間5名以上、社内研修を年間12回以上実施し、技術力向上と人材育成を推進します。
					目標	資格取得者数 2026年 年1名 2030年 年5名
経済	地域社会の発展と持続可能な経済成長に貢献するため、技術力の向上と品質の高い施工サービスの提供に努めています。		⑧働きがいも経済成長も	令和7年度 地域の公共工事および民間工事を通じて地域インフラ整備に貢献	指標	2030年までに売上高を2026年度比20%以上向上させるとともに、地元企業との取引割合を85%以上に拡大し、地域経済の活性化に貢献します。
					目標	売上高 2026年現状維持 2030年20%増加 地元企業との取引割合 2026年70% 2030年85%以上
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ それぞれの取り組みや重点項目について社内共有を実施。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 取り組みをホームページに記載 https://kabushikigaisya-naiki.com/page03.aspx				